



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年11月9日

上場会社名 株式会社オールアバウト 上場取引所 東
 コード番号 2454 URL <http://corp.allabout.co.jp/ir/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江幡 哲也
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CAO (氏名) 森田 恭弘 TEL 03-6362-1300

四半期報告書提出予定日 平成28年11月10日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	4,544	23.0	42	-	32	-	△46	-
28年3月期第2四半期	3,694	26.8	△15	-	△29	-	△34	-

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △68百万円 (-%) 28年3月期第2四半期 △32百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	△3.47	-
28年3月期第2四半期	△2.58	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	4,330	3,378	77.8	249.04
28年3月期	4,387	3,467	78.3	254.01

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 3,367百万円 28年3月期 3,434百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	-	0.00	-	1.50	1.50
29年3月期	-	0.00	-	-	-
29年3月期(予想)	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

(注) 当社は定款において、第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末における配当予想額は未定であります。

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,000	16.1	120	58.8	90	164.3	△40	—	△2.96

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	13,533,700株	28年3月期	13,533,700株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	13,566株	28年3月期	13,566株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	13,520,134株	28年3月期2Q	13,477,613株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府の景気対策等の効果もあり雇用環境は緩やかな回復基調が続いているものの、円高が進み企業収益の改善に足踏みがみられたことに加え、新興国経済の減速など海外経済の下振れ懸念もあり、先行き不透明な状況で推移しました。

このような環境下で当社グループは、「メディア広告&ソリューション」「トライアルマーケティング&EC」「生涯学習」「グローバル」「C to C」「ウェルネス」「クラウドソーシング」「デジタルコンテンツ」といった8つの領域を中期的な注力領域とし、それぞれの領域に対しWEBとリアルの両面から最適なソリューション及びサービスを提供すべく、グループ経営を推進してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,544百万円（前年同四半期比23.0%増）、営業利益は42百万円（前年同四半期は営業損失15百万円）、経常利益は32百万円（前年同四半期は経常損失29百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は46百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失34百万円）となりました。

報告セグメントの状況は以下のとおりであります。

(マーケティングソリューションセグメント)

マーケティングソリューションセグメントにおきましては、O2Oアプリの受託開発売上について、当期は大型案件が発生しなかったため前期実績を下回って推移しました。一方で、ネットワーク広告を中心に広告売上が堅調に推移しました。

以上の結果、マーケティングソリューションセグメントの売上高は1,448百万円（前年同四半期比12.4%増）、セグメント利益は206百万円（前年同四半期比89.4%増）となりました。

(コンシューマサービスセグメント)

コンシューマサービスセグメントにおきましては、「サンプル百貨店」におけるサンプル商品の拡充と会員数の増加に注力し、主力の有償サンプリングサービス「ちょっぷル」が堅調に推移しております。一方で、会員獲得を目指し、プロモーションに関連する広告宣伝費や販売促進費などの販売費が増加しました。

以上の結果、コンシューマサービスセグメントの売上高は3,119百万円（前年同四半期比28.9%増）、セグメント損失は17百万円（前年同四半期はセグメント損失59百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は3,278百万円となり、前連結会計年度末に比べ71百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が229百万円、商品及び製品が33百万円、繰延税金資産が49百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が90百万円、未収還付法人税等が145百万円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は1,051百万円となり、前連結会計年度末に比べ128百万円減少いたしました。これは主にソフトウェアが59百万円、繰延税金資産が17百万円増加した一方、のれんが145百万円、ソフトウェア仮勘定が23百万円、投資有価証券が14百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は895百万円となり、前連結会計年度末に比べ30百万円増加いたしました。これは買掛金が45百万円、未払消費税等が16百万円増加した一方、未払費用が36百万円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は56百万円となり、前連結会計年度末に比べ1百万円増加いたしました。これは退職給付に係る負債が1百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は3,378百万円となり、前連結会計年度末に比べ88百万円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失を46百万円計上したこと及び20百万円の配当実施により、利益剰余金が67百万円減少、非支配株主持分が21百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の通期連結業績予想は、平成28年11月9日に公表いたしました「平成29年3月期第2四半期累計期間連結業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,556,257	1,785,292
受取手形及び売掛金	1,045,328	955,205
商品及び製品	311,652	345,296
未成制作費	28,112	4,213
未収還付法人税等	145,656	-
前払費用	25,831	33,909
繰延税金資産	53,644	103,586
その他	45,280	53,281
貸倒引当金	△4,569	△2,490
流動資産合計	3,207,195	3,278,293
固定資産		
有形固定資産		
建物	112,013	112,503
減価償却累計額	△26,314	△36,209
建物(純額)	85,699	76,294
工具、器具及び備品	169,809	160,304
減価償却累計額	△118,025	△113,228
工具、器具及び備品(純額)	51,784	47,075
有形固定資産合計	137,484	123,369
無形固定資産		
のれん	478,397	333,285
ソフトウェア	253,085	313,002
ソフトウェア仮勘定	60,590	37,277
その他	1,941	2,306
無形固定資産合計	794,014	685,871
投資その他の資産		
投資有価証券	56,431	41,531
破産更生債権等	11,148	11,148
長期前払費用	2,500	1,500
長期貸付金	16,370	9,370
差入保証金	131,708	131,463
繰延税金資産	14,201	31,293
その他	27,249	27,338
貸倒引当金	△11,148	△11,148
投資その他の資産合計	248,463	242,498
固定資産合計	1,179,962	1,051,739
資産合計	4,387,157	4,330,033

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	465,299	510,963
短期借入金	22,320	21,623
未払金	5,072	2,636
未払費用	223,157	186,883
未払法人税等	31,982	36,279
未払消費税等	15,279	31,701
前受金	20,635	11,362
預り金	39,037	46,062
賞与引当金	8,255	13,175
その他	34,059	34,626
流動負債合計	865,098	895,314
固定負債		
退職給付に係る負債	27,574	29,108
資産除去債務	27,000	27,000
固定負債合計	54,574	56,108
負債合計	919,672	951,423
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,199,222	1,199,222
資本剰余金	1,854,252	1,854,252
利益剰余金	384,982	317,819
自己株式	△4,212	△4,212
株主資本合計	3,434,245	3,367,081
新株予約権	396	676
非支配株主持分	32,844	10,851
純資産合計	3,467,485	3,378,610
負債純資産合計	4,387,157	4,330,033

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	3,694,828	4,544,920
売上原価	1,305,999	1,938,756
売上総利益	2,388,829	2,606,163
販売費及び一般管理費	2,404,716	2,563,524
営業利益又は営業損失(△)	△15,886	42,639
営業外収益		
受取利息	978	758
受取配当金	-	500
その他	874	2,775
営業外収益合計	1,853	4,033
営業外費用		
支払利息	197	73
持分法による投資損失	14,908	12,884
為替差損	-	1,212
その他	740	95
営業外費用合計	15,845	14,266
経常利益又は経常損失(△)	△29,878	32,406
特別利益		
新株予約権戻入益	940	396
特別利益合計	940	396
特別損失		
固定資産除却損	3,237	10,869
減損損失	-	131,194
本社移転費用	3,787	-
情報セキュリティ対策費	2,305	-
特別損失合計	9,330	142,064
税金等調整前四半期純損失(△)	△38,268	△109,261
法人税、住民税及び事業税	16,168	26,647
法人税等調整額	△21,439	△67,033
法人税等合計	△5,271	△40,386
四半期純損失(△)	△32,997	△68,875
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1,777	△21,992
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△34,774	△46,883

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純損失(△)	△32,997	△68,875
四半期包括利益	△32,997	△68,875
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△34,774	△46,883
非支配株主に係る四半期包括利益	1,777	△21,992

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	マーケティング ソリューション	コンシューマ サービス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,275,960	2,418,868	3,694,828	—	3,694,828
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,401	300	12,701	△12,701	—
計	1,288,361	2,419,168	3,707,529	△12,701	3,694,828
セグメント利益又は損 失(△)	109,296	△59,254	50,042	△65,929	△15,886

(注) 1. セグメント利益の調整額△65,929千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△65,929千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	マーケティング ソリューション	コンシューマ サービス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,428,316	3,116,603	4,544,920	—	4,544,920
セグメント間の内部 売上高又は振替高	20,154	2,437	22,592	△22,592	—
計	1,448,470	3,119,041	4,567,512	△22,592	4,544,920
セグメント利益又は損 失(△)	206,997	△17,757	189,239	△146,600	42,639

(注) 1. セグメント利益の調整額△146,600千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△146,600千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの利益又は損失の測定方法の変更)

当連結会計年度より各セグメントの業績をより適切に評価するため、全社共通費の配賦方法を変更しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益はマーケティングソリューションセグメントで82,676千円増加した一方、調整額では82,676千円減少しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結会計期間に、マーケティングソリューションセグメントにおいて、131,194千円の減損損失を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

マーケティングソリューションセグメントにおいて、連結子会社であるファイブスターズゲーム株式会社を取得した際に生じたのれんについて、業績が当初想定していた事業計画を下回って推移していることから新たに事業計画を見直した結果、帳簿価額を回収可能価額まで減額いたしました。

当該事象によるのれんの減少額は、131,194千円であり、当第2四半期連結会計期間に減損損失として特別損失に計上しております。

なお、上記(固定資産に係る重要な減損損失)の中に当のれんの減損損失も含めて記載しております。